

# バックアップセンター BUC きょうと通信 ばつくる - 創刊号 -

## 巻頭エッセイ 新生「月刊きょうと」

新号誕生までの経緯

今回で二〇一回目を迎える「月刊きょうと」は名を改め、「BUC きょうと通信 ばつくる」となった。ちなみに「BUC」は「バックアップセンター」の略である。今回は新号誕生までの経緯を振り返りながら、今後の展望について語っていきたい。

この発端は、月刊きょうとが二〇〇〇回目を迎える前にさかのぼる。記念すべき二〇〇回目を節目にBJH(BUC情報発信係)の活動を見直そう、という話を持ちあがったところからリニューアルに向けての活動が始まった。BJHとはバックアップセンターきょうと(通称BUC)の活動を紹介する通所者(メンバー)の集まりである。(BUC JYHOH HASKINGAKARIの頭文字からとった。英語の頭文字でないのがややこしいという声もあるが、これがBUC流である)

- ◆今日のトピックス
- 巻頭エッセイ
- 「新生 月刊きょうと」
- 今月のお題
- 「私のまわりの神対応」
- メンバー紹介/お知らせ/編集後記

されたBJHは、紙媒体である「BUC通信」の発行や、Web上で「BUC きょうとメンバーブログ」の執筆、運営を行い、BUC内のイベントや、メンバー同士の活動の様子についてまとめていた。それに加えて最近YouTubeの動画配信でBUCのプログラムの紹介を行ってきた。活動自体は順調であったが、「活動のルーティンワーク化」、「作業の個人化」、「周知不足などの問題もあった」。

そこで、二〇〇〇号というキリのいいタイミングで、BJH内で活動の見直しを行うことになった。各情報媒体の対象を明確にし、そのうえでBUC会議にてメンバーの方々に話し合ってもらい、BJHとして、どのように情報発信を行っていくのかを検討した。ちなみにBUC会議とは、メンバー同士で特定のテーマについて話し合う、模擬会議のプログラムである。

その結果、媒体としての「目的」、「対象」がcaぶついているという指摘が多かったため、「BUC通信」と「月刊きょうと」、「メンバーブログ」の一本化が決定した。また、せつかく発信しているのに、あまり知られていな

いのは、各媒体にアクセスしにくいからだ、という意見も多かった。それを踏まえて、「二次元コード」、「PDF」で新機関紙と京都駅前メンタルクリニックHP間の相互リンクを可能にしていきたい。時期は未定だが、YouTubeの動画に京都メンタルクリニックから直接アクセスできるようにしていく。

また、機関紙を刷新するにあたって名称も「月刊きょうと」から「BUC きょうと通信 ばつくる」に変更した。「ばつくる」という言葉はベルトのバックルのイメージから来ている。バックルがベルトを「輪」にしてつなぎとめ、ベルトたらしめているように、この機関紙も通所者や家族、来院された方を少しでもつないで「輪」にしていきたい。ちなみにこの名称は通所しているメンバーの方々に考えていただいた。公募制で案を募った後に、メンバー内で投票して一番得票数の多かったものに決めた。こちらの想定していた以上にたくさん

さんの案がでてきた。選ばれなかった案の中にも素晴らしいものがたくさんあり、通っている方の「BUC」に対する思いが伝わってきた。名称

を考慮していただいた方や投票をしてくれた方々にこの場を借りてお礼を申し上げます。

こうして月刊きょうとは生まれ変わった。今後はこの巻頭エッセイ部分に、納涼会やハイキングなどのイベントの特集や、通所されている方の声、卒業前のメッセージなど、面白くてためになるコンテンツを発信していく予定である。かつての良さは維持しながら、時代に合わせて新しいものを柔軟に取り入れていきたい。



イラスト/P.N.き

### 今月のお題 「私のまわりの神対応」

執筆した十月は別名「神無月(かんなづき)」。これは、神聖な五穀を収穫し、神々にささげて感謝する大事な季節だったからとされています。そこで今回は、「私のまわりの神対応」と題して、メンバース

タツの皆さんからコラムを募集しました。最後までお楽しみください。

#### ◆Casati さん

旅行で帰りに駅構内で買い物をしていました。リュックのサイドポケットに財布を入れて、会計はすべてスマホ決済。いざ改札に入ろうとすると、財布がありません。どこかで落としたのか、もしやスられた?と思ひ、警察へ。翌日からカードの再発行手続きをムカムカしながらしていたところ、警察から電話があり、財布が落とし物で届けられた、とのこと。着払いで郵送してもらいました。カードも現金(2万円ほど)もすべて無事でした。拾ってくれた人は名前も残さずだそうでお礼もできませんでしたが、まさに神!

#### ◆しおからさん

ロボ連れで立ち寄った先であたたかなもてなしを受けると嬉しいものです。奈良には「小さなロボ連れ様(ぬいぐるみ・フィギュア・ドールなど)同伴歓迎のカフェがあり、小さな連れののために専用席やお菓子を提供してくださいます。正月にはお年玉をいただきました。昨年新潟旅行した際に泊まった宿では、ロボたちのために、おやつ(おもちゃ)や布団を準備してくださいました。家族旅行(想定)にノリを合わせてくれるのに申し訳無さも感じつつ、ありがたく楽しませていただきました。



◆パッションKAZさん

私がこれまでに感動した神対応は、東京ディズニーランド(以下TDL)での出来事です。

まだ幼かった娘の靴をすぐ見つけてもらったことに尽きます。随分前の出来事でしたがいまだに鮮明に記憶しているくらいです。それは、次のアトラクションに家族で並んでいた時でした。抱きかかえた娘の靴が片方だけ無くなっていたことに気づいて泣きじゃくっていた娘をあやしな



©c1801

◆おたろーさん

故郷が出雲地方なので、幼い時には旧暦の10月になると「もうすぐ神様がくるんだよ」と聞かされていました。出雲大社近くの稲佐の浜で「神迎え神事」が執り行われると、正式に神在月に入ります。「お宮み荒れ」と呼ばれる気象状態になり、雷がドカンドカカン鳴り始めると「神さん来んさつたわ(出雲弁)」と教えられていました。期間中は神々の会議の邪魔にならないよう周辺地域では鳴り物を控えるといった、「神への対応」を思い出しました。



おたろー

◆カンガルーさん

昔の話ですが、私は海外のお客様様御一行をご案内して京都市内の名所を巡りました。予定が遅れ、最後の目的地の東寺に着いた時は、ちょうど拝観時間が終わったところでした。がっかりしていると、寺務所の方が、「せつかくだから見えて下さい。」と言われました。恐縮して全員分の拝観料をお支払いしようとする、「それは結構です。」

貸し切り状態の世界遺産、国宝の東寺。しかも寺務所の方は私たち一行を導き、寺の中を案内して下さいました。海外のお客様も大喜びでした。大変ありがたい施しに、この寺で仏さまにめぐり逢えた気がしました。



◆スライムさん

大学の卒業旅行で、ヨーロッパに行く予定でしたが新型コロナウイルスの影響で行けなくなってしまいました。代わりに国内のお高いホテルに泊まることになりました。

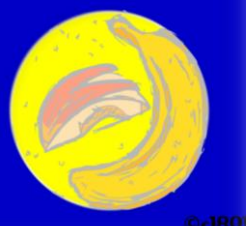
部屋は一組一棟で露天風呂付き。部屋にはウエルカムフルーツ、高そうなオーデオ、コーヒーマーカーなど。独創的なコース料理に、自販機のハーゲンダッツ食放題。宿の方の対応もとても良く、非日常な一日を過ごすことができました。気軽にに行けるものではないですが、神対応を浴びるのもたまにはいいものです。

◆ピーチさん

学生時代、ドイツに行った時のこ

とです。宿泊施設を日本でいう民宿で予約をしていました。

当時、海外では電波が入らない状態で、スマホに保存した地図を頼りに宿を探していました。しかし、なかなか宿が見つかりません。予定の時間も過ぎて、外は暗くなり不安になってきました。何度か、道をうろろろしている、それらしき所にオーナーが立っていました。とても寒い時期に関わらず、外で待っていてくれたのです。部屋に着くなり、バナナとリンゴを持ってきてくれました。これが私の中の一番の神対応です。



©c1801

◆Y.Mさん

ある日、BUCのくつろぎスペースで作業をしていたら、水耕栽培の鉢をうっかり倒してしまいました。一人で「雑巾は何処に」と慌てふためいていると、物音で気付いて下さったのか、生き物係の面々がすさまじいスピードで集結し、あちらでは雑巾を手に持ち、こちらでは新聞紙を手に持ち、あつという間に片付

けて下さいました。お礼と謝罪を繰り返すしかできない私に、「けがが無くて何よりです」と笑顔で声をかけて下さるところまで、100%の神対応。皆さん、あの時は本当にありがとうございました。

◆バスは一日3本さん

乗り物好きな甥っ子の才が、母とバスに乗ってきました。田舎なのでお客も少なく、終点まで乗って車で迎えに来てもらったそうです。終点では降車ボタンは不要ですが、わざわざ「降りられるお客様はボタンを押してください」とアナウンスをしてくださったそうです。甥っ子は大はしゃぎでボタンを押し、大満足だったそうです。業務上必要ないアナウンスですが、そんな気遣いがありがたいですね。どんな時でもそんな余裕を持っていたいものです。

◆T.ヨシザウルスさん

ムンチャクパスさん

妻の気遣いです。私は今まで親に対してあまり何もしてこなかったのですが、結婚してからは妻が、私の親の誕生日、父の日、母の日など様々なイベント時に、私と妻の共同名義でプレゼントを選定し送ってくれています。申し訳なく思い、「一緒にやるよ」と言っても「そういうのめんどくさいタイプやろーし、こっちでやつとくで」と言われ、その思い、男気に感銘を受けました。自分はそういう気遣いが一切できないタイプなので、本当に尊敬しています。

◆とりずたん さん

近くの喫茶店で、音楽を聴きながら、本を読んでいます。その日もイヤホンしながらコーヒー片手に席につこうとしたら、ポットとイヤホンが落ちて、カップにポチャ！取り出したのに熱くて指を入れられなし、スティックしかない。諦めて漏斗とカップを借りて、ホカホカのイヤホンは無事救出できました。勿体無いで移したコーヒーを飲もうかと思っていたら、「新しいのをどうぞ」と、こちらの責任なのに無料でコーヒーを頂けました。神！？



◆N.O さん

高校生の時、父がケーズデンキでシーリングライトを買ってきました。取り付けの際に、シーリングライトのガワに物を落としてしまい、ガワが割れてしまいました。それで、ガワだけ売っていないか、購入した店員に確認してみると、無料で交換していただきました。こちらの不手際だったのに、交換していただき、本当に神対応でした。

◆A.K さん

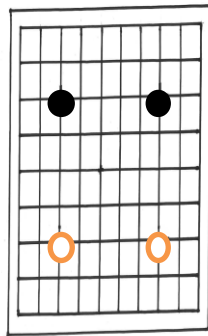
私は電車でBUCに通所しています。先日の朝、電車を待っていると、すぐ近くに体調の悪そうな女性が、おでこに手を当てながら、しゃがみこんだり、立ったりと、今にも倒れそうな感じでした。そして電車が来て、扉が開くと、私は一目散に空いたばかりの席に向かい、座席確保。後からよろけながら乗ってきたその女性に座ってもらいました。女性は申し訳そうな様子で、お礼を言ってくれました。ちよつとした良い行いので、晴れやかな気持ちになりました。神対応？

◆九回裏二死満塁三塁差 さん

BUCでの事。共同作業の中でどん底まで打ちのめされる瞬間がありました。(自分の癖ではあるのですが)人格を否定されたような悲しい気持ちになり「自分は何をやってても駄目」と、少しずつ積み上げていた共同作業における自信はその一瞬で一気に喪失しました。体調が悪化し、翌日の通所は無理でしたが「それでも通所した方が良い」とスタツフさんに言われ、這うようにBUCへ。その日の講座は「共同作業における各々の役割」に関する内容。その時の共同作業の振り返りで、前日の自分を救うようなコメントを別のメンバーさんから頂き、許されているような感覚に大変救われたのを覚えています。あの時の講座はタイミング的に私にとって神対応でした。

◆ラーメン さん

高校時代、囲碁部だったときに、プロの方から指導棋をしていただき、そのあとに本にサインもいただきました。約六年後、社会人になって、ふたたび指導棋をしていただく機会に恵まれました。なんと向こうも私のことを覚えてくださっており、また再びサインをいただきました。本の裏表紙に並んだ二つのサインを見ると今でもうれしくなります。サインがこなれているのを見て、月日の経つのを実感しました。



イラスト/P.N.ラーメン

◆マロングラッセ さん

先日、BUCの帰りにふらっと寄った京都駅ビルの某百貨店で見切り品のシャインマスカットが安く売られているのを見つけました。他の品物数点と一緒にレジを持って行くと、会計を済ませる僅かな間にレジ打ちの店員さんがプチプチの緩衝材でシャインマスカットを包んでくれていました。さらに、「レジ袋は不要です」と伝えたら、レジ袋ではなく小分け用の透明のビニール袋を惜しげもなくたくさんカゴに入れてくれました。

た。普段、「必要以上のビニール袋は持ち帰らないで！」とサツカー台に張り紙のしてあるスーパーで買い物をしている身からすると、その対応の良さに感激するとともに、百貨店のプライドを見た気がしました。

◆巷で噂？のS県民 さん

転勤で神奈川にいた頃の話になりますが、郊外の電気量販店でヘッドライトを付けっ放しで駐車したまま店内に入ってしまった、バッテリー上がりでエンジンがかからなかったことがありました。閉店間近で途方に暮れていたら偶然にも同僚の姿を発見！思わず駆け寄って事情を話したところ、なんと普段は車に積んでいないブースターケーブルまであるとのこと。。。こうした二重の偶然によってピンチを脱することができたのでした！

◆シレインカーを許さない会 さん

うちの猫を引き取る前、動物愛護センターに猫見学に行ったときのことです。猫の部屋(猫が10匹くらいいる保護部屋)に案内されると、真っ先にケージにしがみついた仔猫が目に入りました。その子がやあにやあ呼ぶので、近寄って手を差し出すとエンジンのような音で喉を鳴らしはじめ、小さい饅頭のような前足で手にしがみついてへろへろなめられました。初対面の人間に気を許す猫(レア)の可愛さと肉球の柔らかさ...幸せなひとときを過ごしました。神対応の仔猫、幸せにな

ついで欲しいです(その子は引き取り先が決まっています)。



イラスト/P.N.とき

◆ホネカワスジオ さん

某ロックバンドの野外ライブに行つたときのことでした。演奏中に観客が盛り上がり過ぎてエリアを区切っていた。パイプの仕切りが倒れ観客が将棋倒しに倒れてしまいました。ライブも一時中断する事態となりましたが、バンドのボーカルの方がステージを去り際に「その倒れている女の子を早く起こしてあげな」と言っており、惚れてしまうくらい格好よく見えました。

◆スタツフ鹿野(臨床心理士)

接客での神対応を紹介します。母と一緒に、地元の「夫婦でやっておられる喫茶店」行きました。母が日傘を忘れてしまい、私も気づかず店を出してしまいました。しばらく歩いていると、後ろから喫茶店の奥さんが駆け寄って来て、日傘をバトンのように差し出してくれました。「おばあさん」とか、「おばさん」とか、「お客さん」とか叫ぶことなく、呼び止めることなく、必死に追

いかけて、私たちの手元まで届けてくれました

◆スタッフ藤井(精神保健福祉士)

INAC神戸という女子サッカーチームを応援しようと思っただけが、ある選手の神対応でした。女子サッカー日本代表がワールドカップで優勝してしばらくして、当時INAC神戸に所属していた代表選手を一目見ようと練習見学に行ったら、練習後のサインなどのファンサービスで神対応をしまくっている選手に出会いました。それが

鮫島彩選手。鮫島選手はサイン対応だけでなく、顔見知りのファンと談笑するなど、ファンを大事にする神対応を連発。その姿を一目見て、この人とこのチームを応援しようと思いに決めました。

◆スタッフ北川(看護師)

私は定期的に地元のエステ店に通っています。中国人の方がオーナーで、来店する人を綺麗にさせることが生きがい、と話し、とてもポジティブな方です。その方は、いつも何かとサービスをしてくれて、今まで謎のプロテインや健康に良いお米をくれたり、施術の追加等、神対応をしてくれます。ただ、そんな神対応をしてくれているオーナーは私の名前をずっと間違っと呼んでくれます。いつか、本当の名前で神対応をしてくれると、さらに嬉しいな、と思います

◆スタッフ森(臨床心理士)

乳児の子を義母に預けて仕事に行った時の事。3時間後に帰宅すると、出かけた時と同じように、ソファに子どもを抱っこしたままの義母の姿が。かなり泣いていたようです。ずっと抱っこして下さってたそうです。ひどかった夜泣きもその日を境に収まりました。家事と育児しながら3時間の抱っこは私には到底できず、まさに神対応！安全、安心って大切ですね。

◆スタッフ南堀(看護師)

南フランスのパカンス村に滞在した時のことです。カフェカウンターでアイスカフェクリームを注文して受け取り、その後間もなくそれをこかしてしまいました。お店の方は、「問題ないよ(笑顔)」ともう一度タダで作成り直してくださいました。翌日にも注文すると「今日は気をつけてね(冗談っぽい笑顔)」(本当は言葉がわからなかったのですが、そう言われた気がしています)と言葉を添えて出してくれ、最終日に通りかると「いい旅を！」とまた素敵な笑顔と共に声が飛んできました。やらかしてしまっただけ嫌な気分を残さないようにしてくださいました。心遣いが神対応でした。イケメンのお兄さんだったので、神に思えたただけかな？

◆スタッフ松田(作業療法士)

最寄り駅を降りると、土砂降りの雨が降っていました。急な雨だっ

たので、傘を持っておらず、途方に暮れていたところ、後ろからやってきたマダムに「あらーすごい雨じゃないの。あなた傘持っていないの？私折り畳み傘もあるから、一本差し上げます。」と言われ、ビニール傘を手渡されました。「そんなの申し訳ないですよ」と返そうとしたけれど、「どうぞどうぞ」と押し返され、いただくことにしました。傘の返却とお礼を言いたいと思い、毎日マダムを探したのですが、かれこれ3年ほど出会えず、今に至っています。



イラスト/PNとき

新メンバー紹介

今月も5名のニューフェイスさんたちに自己紹介を書いていただきました。よろしくお願ひします！

◆きいとさん

富山県出身ですが、山に囲まれて。趣味はゲーム、読書、手芸で、並行してできないものが多めです。最近はずっとゲーム(スプラトゥーン

3、モンハンSB)が楽しく、時間を忘れてやりすぎるのが玉に瑕です。。

◆Do not loseさん

プロフィール:滋賀県在住。趣味は音楽鑑賞。好きな音楽ユニットの歌のフレーズ  
「DOWN TOWNくりだそう 暗い気持さえ すぐに晴れて みんなうきうき」  
に心が動き、BUCを探し通い出しました。BUCでの貴重な経験を楽しみにしています。

◆MYさん

プロフィール:京都府出身、趣味はスポーツ観戦と美味しいご飯屋さんを探して行くことです。ラーメンが特に好きなのでオススメのラーメン屋があったら知りたいです。

◆お腹ひっこめたいさん

はじめまして。私はダイエットのため、毎日ジョギングを続けています。少しずつ減量できていますが、ここ最近はずっと減量できていません。若いうちはすぐ痩せたいですがね...でも諦めずに続けていきます。よろしくお願ひします。

◆ボンゴレツツさん

京都生まれ京都育ち。熱しやすく冷めやすい性格で、興味が湧けばとりあえず一度やってみます。ただ冷めやすいので趣味として続けているものはバイクと釣ります。その他広く浅くいろいろやっています。

お知らせ

◆YouTubeチャンネルのご案内

バックアップセンターきょうと(以下BUC)では、通所者のご家族や、通所を検討されている方々にBUCでの活動内容を知っていただく為にYouTubeチャンネルをご用意しております。興味のある方は左のQRコードからご視聴できます。是非ご覧ください。



バックアップセンターきょうと YouTube チャンネル

編集後記

今回から名称も変わり新機関紙となった。初心を忘れることなく、BUCに関する情報を届けていきたい面白くてためになる記事を作成し読んで方が楽しんでいただければ幸いです。

(BUC情報発信係)

《発行元》

医療法人栄仁会 京都駅前バックアップセンターきょうと  
※ご意見・ご感想等ございましたら、backup@ejinkai.or.jp まで。

